

107A - ルーヴル美術館で大胆な強盗事件

10月19日（日）の朝、パリのルーヴル美術館で驚くべき強盗事件が起きました。午前9時30分ごろ、数人の熟練した泥棒がセーヌ川側から建物に侵入し、非常に貴重な宝石を盗みました。場所は、王冠のダイヤモンドが展示されている有名なアポロンのギャラリーです。

内務大臣のローラン・ニュネズ氏が現場に到着し、最初の説明をしました。犯人たちはトラックに取り付けられた高所作業用のリフト（ナセル）を使って窓に近づき、鉄格子を切断し、ガラスケースを壊して宝石を奪いました。犯行はわずか7分間で終わりました。

警察によると、これはよく準備されたプロのグループによる犯行だそうです。リフトは現場近くに放置されていました。犯人は3〜4人と見られています。

その時、美術館はちょうど開館したばかりで、外で待っていた観光客たちは「技術的な問題がある」と説明され、何が起きているのか分かりませんでした。後で警察が来て初めて、強盗事件だと知りました。

ルーヴル美術館は現在、盗まれた宝石の正確なリストを作成中です。被害額はまだ不明で、調査のためにその日は終日閉館しました。

この事件は、世界で最も警備の厳しい場所でも、芸術品や歴史的な宝物が今も狙われていることを思い出させます。

107B - 秋のアルザス：ワイン畑を巡って

秋になると、アルザス地方は黄金色や赤色のブドウ畑に変わり、観光客にとって最高の季節になります。多くの人がワイン街道を自転車で巡る旅を選びます。

カイゼルスベルク渓谷では、デンマークから来たカップルが秋の色や伝統的な村を楽しんでいます。このように、外国人観光客の間でも自転車の旅が人気です。カナダから来た退職者のジャン＝リュックさんは、ストラスブールからコルマールまでいくつもの町を自転車で旅しています。

アルザスには 2,500 キロの自転車道があり、そのうち数百キロはブドウ畑の中を通ります。ガイドと一緒に走るツアーもあり、「自転車は自由に動いて、街の中心から離れた所も気軽に行ける最高の手段です」と地元ガイドのルイさんは話します。

旅の最後には、ワイナリーでのワインの試飲が人気です。ブドウの育て方や醸造方法を学ぶことができ、地域の職人の技にも触れられます。

ワイン生産者のヴァレリー・ベイヤーさんは言います。「観光客は風景や料理、そしてワインを楽しむに來ます。それがこの地域の魅力です。」

秋のアルザスは、自然・文化・美味しい体験を自転車で楽しむ最高の季節です。

Questionnaire

1. 強盗事件はどこで起きましたか？
 2. 犯人たちはどのように美術館に侵入しましたか？
 3. 盗みはどのくらいの時間で終わりましたか？
 4. 事件の間、来館者たちは何だと思っていたか？
 5. なぜ美術館は一時的に閉館しているのですか？
-
1. 記事で紹介されている地域はどこですか？
 2. なぜ秋はアルザスを訪れるのに良い季節なのですか？
 3. アルザス地方には自転車道が何キロありますか？
 4. 観光客は自転車の旅の後、よく何をしますか？
 5. ヴァレリー・ベイヤーさんによると、なぜ人々はアルザスに来るのですか？